

令和6年度 遠野市立綾織小学校 働き方改革アクションプラン

遠野市立綾織小学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

現状

- ◆ 時間外在校等時間が月 45 時間以上の職員が 7 人、年間 360 時間以上の職員が 7 人いる。
- ◆ 特定の教職員に業務が集中しており、時間外勤務が常態化している。
- ◆ 業務が逼迫し、子どもと向き合う時間を十分に確保できない教職員がいる。

目指す姿

- ◆ 教職員が自分自身で時間外在校等時間を把握し、適宜業務改善に取り組んでいる。
- ◆ 管理職が安全衛生管理を確実にし、職場環境改善に取り組んでいる。
- ◆ 教職員一人一人が子どもと向き合い、ともに健康で生き甲斐をもって業務に取り組んでいる。

働き方改革の重点取組

取組① 時間外在校等時間の削減

- ◆ 毎月の職員会議で前月の時間外在校等時間の状況等を共有し、意識化を図る。
- ◆ 時間外勤務が慢性的に多い教職員に対しては、その要因の把握を行い、改善の方向性について検討する。

取組② 業務改善の推進

- ◆ 安全衛生委員会を開催し、業務改善について全職員で協議し、実行する。
- ◆ 地域や保護者に対して、教職員の業務改善に関する説明を適宜行い、理解が得られるようにする。
- ◆ PTA 活動に関して、活動内容の見直しを図る。

取組③ 定時退庁の意識化

- ◆ 金曜日を「ノー残業デー」として設定し、積極的に声掛けをして定時退庁に努める。
- ◆ 退庁時刻にチャイムを鳴らし、定時退庁への意識化を図る。

具体的成果目標

関係する重点取組

目標① 時間外在校等時間が月 45 時間以上の人数を 7 人から段階的に減少させる。	①、②、③
目標② 時間外在校等時間が年 360 時間以上の人数を 7 人から段階的に減少させる。	①、②、③
目標③ 緊急の場合を除く 20 時以降の居残りの人数を段階的に減少させる。	①、②、③